

【中学生議会 市長答弁様式1】まちづくりグループ1 / 3

質問区分	まちづくり	議員名	みほらだいち 三原大知議員 代理：きむら じゅせ 木村珠星議員
発言順(通し番号)	NO : 13	所管課・室名	地域づくり課 長寿社会課

質問事項	高齢者の生きがいや生活について
具体的な内容 (質問取り事項)	お互い支え合うことのできる環境づくり

【市長答弁】

まず、木村^{きむら}議員のご質問にお答えいたします。

先ほども申し上げましたが、本市の高齢化率は30%目前となっております。

これは超高齢化社会を示している数字で、全国的な傾向ではありますが、高齢者が元気で生活をしていただければ決して悲観する状態ではありません。

議員からご提案いただいた、高齢者が生きがいを持ち、若者や子どもたちと交流しながら生き活きと生活していただく事業は、現在市職員が各地域に出向き、自主活動的なグループを作っていたりしながら活動を進めておりますので、今後も今まで参加しなかった方に参加いただけるような取り組みをしてまいります。

また、高齢者の方に学校に来ていただき、様々な活動しながら生きがいを持っていただくというご提案ですが、現在、安曇野市スクールサポート事業で、学校の要望により地域の指導者による学習を進めていますが、さらに、29年4月から「安曇野市コミュニティースクール支援事業」として、地域の方に学校で活躍していただける機会を充実してまいります。

なお、高齢者と若者を取り持つパイプ役が必要とのことですが、現在安曇野市社会福祉協議会のボランティアコーディネーターがその役目を担い、活動をささえていますので、議員はじめ中学生、高校生の皆さんの積極的なご利用をお願いします。

【中学生議会 市長答弁様式1】まちづくりグループ2 / 3

質問区分	まちづくり	議員名	しげはらわかな 茂原和奏議員
発言順(通し番号)	NO : 14	所管課・室名	人権男女共同参画課

質問事項	男女共同について
具体的な内容 (質問取り事項)	意見交換会の開催・作文コンクールの募集

【市長答弁】

続いて、男女共同参画について、^{しげはら}茂原議員、^{やじま}矢島議員からご質問を頂きました。

現在日本は、生まれてくる子どもが少ないため、少子・高齢化という時代を迎えています。

高齢者も、若い世代の方たちも、今までと同じ幸せな生活を送るために、国は「女性活躍推進法」をはじめとした法律を作り、女性がもっともっと、社会で活躍できるようにし、また、男性も子育てや介護を担い、家族を大切にしていけることを目指しています。

安曇野市でも、市民の皆さんと一緒に、一人ひとり何ができるかを考えています。

男女共同参画の考え方は、その土台となり、柱になるものと捉えています。

次世代を担っていただく若い方から、中学生議会の限られた学習の中で「男女共同参画」に興味を持ち、自分自身に置き換え、実践していく決意を持って、市に提言していただけたことを心強く感じております。

議員の真っ直ぐな姿勢からいただいたご提言は、男女共同参

画のひとつの視点として施策に生かしていきたいと考えておりますし、世代を超えて、行政や市民の背中を押すものとなるでしょう。

議員が日々学んでいる学校という、男女の生徒に違いを感じさせない環境も、多くの方が経験され、社会に訴えてきた歴史がつくったものです。

ぜひ、そのことも含めて学ばれ、新たな礎を築いていただきたいと思います。

では、^{しげはら}茂原議員のご質問にお答えします。

現在、市は男女共同参画社会の実現のため、第2次安曇野市男女共同参画計画に基づき施策を進めているところです。

しかし、男女共同参画は市民の方から関心をいただくことがなかなか難しく、フォーラムなどイベントへの参加者も高齢者層へ固定化してきております。

そのような中、茂原議員には、中学生議会を通して男女共同参画を知り、興味を持っていただけたことは、これからの安曇野市を考える上で、大変嬉しく、また心強く思います。

若い世代の方が考える機会をつくることや、中学生の作文募集、また、その提案に向けた議員自身の出来ることについてご提案を頂きました。

男女共同参画について関心・興味を持っていただく方を、若い世代にもっともっと増やしていかれるよう、これからの施策に活かしていきたいと思っております。

質問区分	まちづくり	議員名	やしまめい 矢島萌唯奈議員
発言順(通し番号)	NO : 15	所管課・室名	人権男女共同参画課

質問事項	男女共同参画のイベント回数について
具体的な内容 (質問取り事項)	回数を増やす・ポスターやチラシの作成

【市長答弁】

次に、^{やしま}矢島議員のご質問にお答えします。

市といたしましては、先ほども申しましたように、第2次安曇野市男女共同参画計画に基づき施策を進めているところです。

男女共同参画を進めるためには、議員のおっしゃるように、男女共同参画を知ってもらうための機会を増やしていくことや、周知の方法も重要なこととなります。

男女共同参画のイベントは、市の男女共同参画推進団体であります市男女共同参画推進会議が中心となって企画から事業を行ない、また、市から委嘱を受けたコミュニケーターの皆さんにもイベントへの協力や地域での啓発を進めていただいています。

矢島議員も先ほどの茂原議員同様に、この中学生議会を通して男女共同参画を知り、そして興味を持っていただき、課題である若い世代への周知・浸透・参加への貴重なご意見を提案下さいました。ありがとうございます。

大変頼もしく、お二人のような若者が増えていくことが、明日の住みやすい安曇野市につながるものと確信できました。

皆さんのような若い世代の考えを施策に活かし、参加していただけるような施策を進めていきたいと思っております。

【中学生議会 部長答弁様式2】まちづくりグループ1 / 3

質問区分	まちづくり	議員名	みほらだいち 三原大知議員 代理：きむら じゅせ 木村珠星議員
発言順(通し番号)	NO : 13	所管課・室名	地域づくり課 長寿社会課

質問事項	高齢者の生きがいや生活について
具体的な内容 (質問取り事項)	お互い支え合うことのできる環境づくり

【市民生活部長答弁】

きむら
木村議員のご質問にお答えします。

木村議員のご提案はとても素晴らしいことと思います。

安曇野市には、私たちの最も身近なコミュニティとして「区」があります。「区」は、みんなで支え合い、助け合いながら、より良い地域をつくる基盤であり、市内には83の区が存在し、それぞれ住んでいる皆さんの福祉の向上や、安全・安心のまちづくりをめざした活動をしています。

この区を束ねている安曇野市の区長会では、それぞれの区において、木村議員のご提言のような、高齢者や障がい者、また子どもたちを見守り、助けるボランティア制度の導入も検討しています。

このことが実現できれば、すべての人がいきいきと暮らせる社会になるものと考えます。

ぜひ、議員もその先頭に立って、高齢者や障がい者を見守っていただきたいと思います。期待しております。

【福祉部長答弁】

福祉部からはボランティアコーディネーターの活動についてお答えいたします。

現在、安曇野市社会福祉協議会の本所及び5地域の福祉センターにあります、社協各支所にボランティアコーディネーターが1名ずつ配置されております。

各コーディネーターは地域の課題やニーズ、学校の福祉学習などのニーズや個人からの要望に応じ、ボランティア活動の調整をしています。

議員ご提案の個人レベルでの高齢者等との交流も、それぞれのコーディネーターが調整をいたしますので、ぜひ一度ご相談をいただき、活動していただければと思います。

【中学生議会 部長答弁様式2】まちづくりグループ2 / 3

質問区分	中学生議会	議員名	しげはら わかな 茂原 和奏議員
発言順(通し番号)	NO : 14	所管課・室名	人権男女共同参画課

質問事項	男女共同について
具体的な内容 (質問取り事項)	意見交換会の開催・作文コンクールの募集

【総務部長答弁】

総務部長の藤松です。^{しげはら}茂原議員のご質問、ご提案についてお答えいたします。

「男女共同参画」という言葉は大変堅いイメージがありますが、やさしい言葉に置き換えれば、「世代を超えてお互いに相手を思いやること」から始まるのだと考えます。

そして、男女共同参画については、若い世代の皆さんの参画が大きな課題の一つとなっておりますが、先ほど市長も申しましたように、二人の議員さんからご質問をいただき、この課題について希望が出て参りました。

さて、男女共同参画をもっと多くの人に知ってもらう方法として、特に若い世代の皆さんに関心を持ってもらうために、「意見交換会の開催」と「作文コンクールの募集」という、ご提案をいただきました。

これらのご提案につきまして、まず、市男女共同参画推進団体の方々との座談会を持ち、互いの経験や考えについて、それぞれ分かち合った上で、ご意見ご感想を出していただく場を設定したいと思います。

この時には、議員さんにもぜひご参加していただければと思います。

そして、この座談会の様子や、出されたご意見等につきまして、市の男女共同参画広報紙であります「湧愛」に載せることも考えて参ります。

「湧愛」は年2回発行し、小中学校や公民館へ配布しているほか、各戸にも回覧をしておりますので、ご家庭においても家族でご覧いただき、話題にする中で、男女共同参画への理解を深めていただければと期待をいたします。

作文コンクールは、先程の座談会や、湧愛による情報提供などにより男女共同参画に対する理解を深めていただけるよう努めて参り、その上で中学生の皆さんから募集することで、ご提案の趣旨に合った作文をいただけるものと考えております。

今後、関係部署とも協議をしながら、いただいたご意見の実現に向け検討して参りたいと思います。

有意義なご提言をいただき、ありがとうございます。

【中学生議会 部長答弁様式2】まちづくりグループ3 / 3

質問区分	中学生議会	議員名	矢島 ^{めい} 萌 ^い 唯 ^な 奈議員
発言順(通し番号)	NO : 15	所管課・室名	人権男女共同参画課

質問事項	男女共同参画のイベント回数について
具体的な内容 (質問取り事項)	回数を増やす・ポスターやチラシの作成

【総務部長答弁】

続いて、矢島^{やじま}議員のご提案についてお答えいたします。

議員おっしゃる通り、男女共同参画をテーマにした、フォーラムや講座等につきましては、回数も少なく、参加者の年代層が比較的高いところで固定化してきていて、いかに若い世代の方に参画していただくようにしていくかが、課題の一つに挙げられています。

男女共同参画への、具体的な取り組みのご提案を、若い世代からいただくことができ、大変有り難く、うれしく思います。

市には、男女共同参画コミュニケーターという、男女共同参画のことを知ってもらおうと地域で活動している、18名の市民の方がいます。

市もコミュニケーターの方々と、地域で男女共同参画のことを考えていただくために、どのような講座等を開催し、多くの方にお知らせするにはどうしたらいいのかを研究しています。

議員ご提案の回覧板の活用ですが、先ほど茂原議員さんの答弁でも申しましたが、市では、関係団体の皆さんと「湧愛」という広報紙を、回覧板で地域の方にご覧いただいています。若い世代の方への共同参画の周知に「湧愛」の有効活用や、ご提案のチラシ等も回覧板を活用して参りたいと思います。

また、中学生が描いたポスターを周知に活用していくという、市民の

関心を集めるための大変良いご提案をいただきました。

学校や関係部署と協議しながら実現に向け検討して参りたいと思います。

中学生のご意見で、大人はいろいろなことに気づくことができると思います。

このような広報紙やチラシが、家庭に回ってきましたら、ぜひ、「男女共同参画」について、中学生の皆さんから言い出して、ご家族で話す機会にしていただければと思います。

貴重なご提言をいただき、ありがとうございました。

